
十勝圏複合事務組合
中間処理施設整備・運営事業
落札者決定基準

令和5年3月

十勝圏複合事務組合

十勝圏複合事務組合中間処理施設整備・運営事業 落札者決定基準
目 次

第1 落札者選定の手順	1
1 落札者決定基準の位置づけ	1
2 選定の手順	1
第2 参加資格審査	4
1 参加資格要件の項目	4
第3 提案審査	4
1 提案書の基礎審査	4
2 提案書の定量化審査	4
3 開札及び入札価格の確認	6
4 入札価格の定量化審査	6
5 総合評価値の算定方法	6
第4 提案書の定量化審査において審査する点	7
第5 提案書に関するヒアリング	10
第6 審査結果等の公表	11

第1 落札者選定の手順

1 落札者決定基準の位置づけ

十勝圏複合事務組合中間処理施設整備・運営事業（以下「本事業」という。）を実施する事業者は、焼却処理施設及び大型・不燃ごみ処理施設の設計・建設及び運営に係る専門的な知識やノウハウ（管理運営能力等）を有することが必要となるため、落札者の決定に当たっては、入札価格だけでなく、提案内容によって落札者を決定する総合評価一般競争入札方式を採用する。

この「十勝圏複合事務組合中間処理施設整備・運営事業 落札者決定基準」（以下「落札者決定基準」という。）は、十勝圏複合事務組合（以下「組合」という。）が本事業を実施する落札者の募集・選定を行うに当たって、入札に参加しようとする者を対象に交付する入札説明書と一体のものである。

落札者決定基準は、総合評価一般競争入札により落札者を選定するに当たって、要求水準書等の内容を踏まえ、入札参加者から提出された提案書等を客観的に評価する基準、方法等を示し、入札参加者の行う提案に具体的な指針を与えるものである。

2 選定の手順

本事業における事業者の選定は、総合評価一般競争入札方式に基づき、3頁の図1-1に示す手順で実施する。

(1) 参加資格審査

組合は、提出された参加資格審査申請書により、入札説明書に記載の入札参加者の備えるべき参加資格要件（以下「参加資格要件」という。）を満たしていることを確認する。なお、参加資格要件を満たしていることが確認できない場合は失格とする。

(2) 提案審査

ア 提案書の基礎審査

PFI 事業等審査委員会（以下「審査委員会」という。）は、提案書等に記載された内容が、落札者決定基準に示す基礎審査項目を満たしていることを確認する。基礎審査項目について1項目でも満たさないことが確認された場合は失格とする。

イ 提案書の定量化審査

審査委員会は、提案書に記載された内容について、落札者決定基準に示す審査基準及び得点化方法に従って評価する。

ウ 開札及び入札価格の確認

組合は、入札書に記載された入札金額が入札書比較価格を超えていないことを確認する。この結果、入札金額が入札書比較価格を超える場合は失格とする。

エ 入札価格の定量化審査

審査委員会は、入札価格について、落札者決定基準に示す得点化方法に従って評価する。

オ 総合評価値の算定

審査委員会は、提案書及び入札価格の定量化審査における得点を合計し、総合評価値を算出する。

カ 最優秀提案者の選定

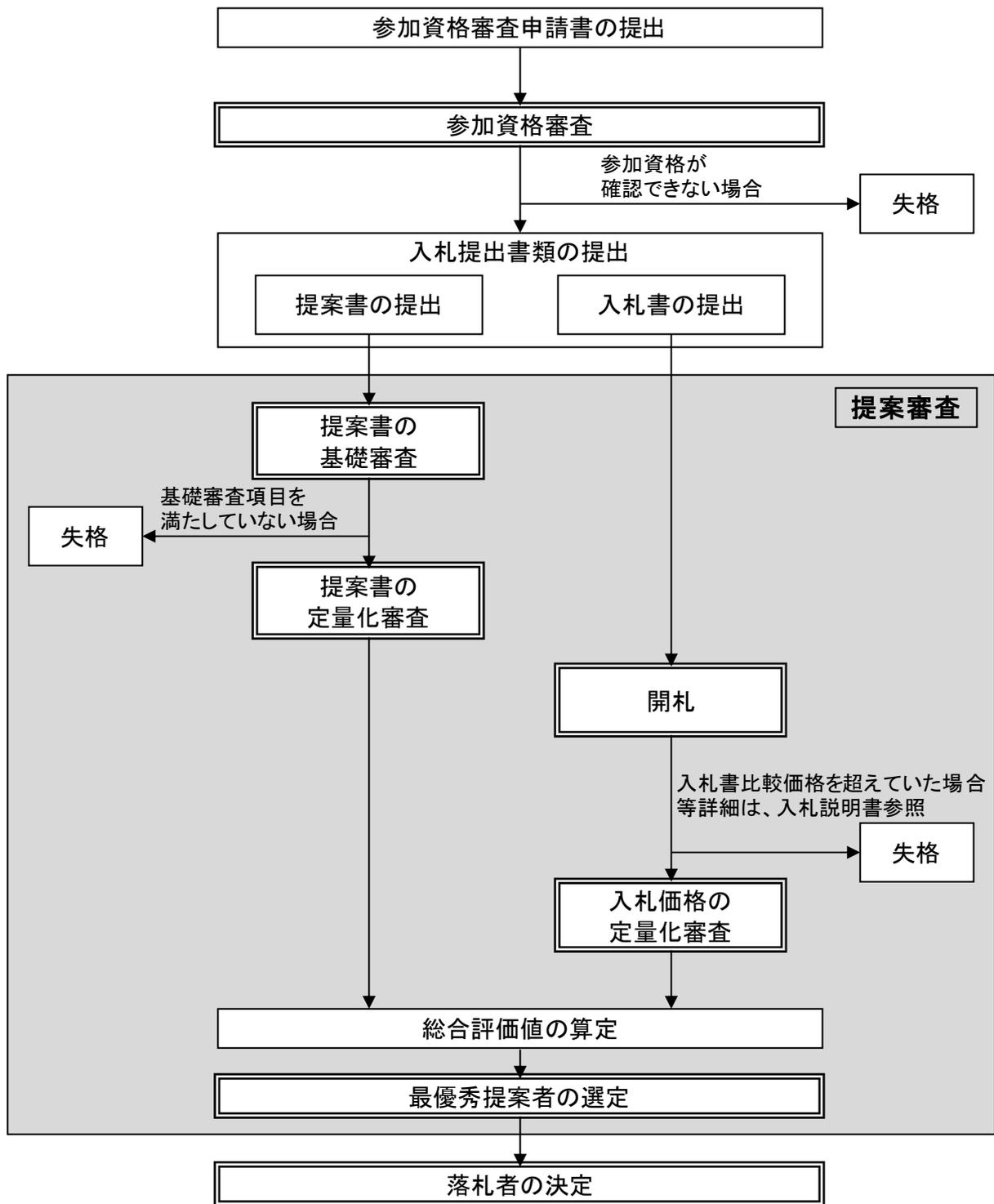
審査委員会は、総合評価値が最も高い提案を行った入札参加者を最優秀提案者として選定する。

キ 落札者の決定

組合は、審査委員会の審査結果を踏まえ、落札者を決定する。ただし、審査委員会が2以上の最優秀提案者を選定した場合は、当該最優秀提案者によるくじ引きにより落札者を決定する。

(3) その他

入札参加者は、本事業の落札者決定までの間に、本入札に関して、入札参加者やそれと同一と判断される団体等が、審査委員に面談を求めることや、入札参加者のPR書類等を提出することにより、自己を有利に、又は他の入札参加者を不利にするように働きかけを行った場合は失格とする。



※最優秀提案者を選定する審査委員会の事務は図中網掛け部分

図 1-1 落札者決定の手順

第2 参加資格審査

1 参加資格要件の項目

参加表明書と同時に提出される参加資格審査申請書を確認する。参加資格審査基準日は、参加資格審査申請書受付最終日とする。

詳細については、入札説明書「第3 入札参加に関する条件等」(P.6)を参照のこと。

第3 提案審査

1 提案書の基礎審査

(1) 提案書等の確認

提出された提案書等がすべて揃っていることを確認する。

(2) 提案書の基礎審査

提案書に記載された内容が、次に掲げる基礎審査項目を満たしていることを確認する。

ア 提案書の内容が要求水準書に示す要求水準を満たしていること。

イ 入札説明書及び様式集に示す提案書の作成に関する条件について違反のないこと。

ウ 提案書全体について、同一事項に対する2通り以上の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。

2 提案書の定量化審査

(1) 提案書における審査項目及び配点

提案書の定量化審査の配点、審査基準及び得点化方法については、事業期間にわたって各施設を「安全・安定な稼働」、「資源循環や省エネ」、「リスク管理」等に配慮した施設整備及び運営を行うことの必要性・重要性を勘案し、組合が本事業に対して民間事業者の創意工夫の導出を期待する度合いにより設定した。したがって、審査項目は、組合が民間事業者に創意工夫を期待している事項であり、配点はその重みを示すものである。

審査項目及び配点については、次の表3-1のとおりである。なお、各審査項目における審査基準等の詳細については、「第4 提案書の定量化審査において審査する点」を参照のこと。

表 3-1 審査項目及び配点

審査事項	審査項目			配点	
	大項目	中項目	小項目		
1	設計・建設及び運営業務に関する事項			50点	
	(1) 安全かつ安定した稼働、災害に強い処理システムの確保			30点	
	ア 施設の安全性及び安定稼働		① 火災・爆発対策	4点	15点
			② 災害発生への備えと災害時の安全確保	3点	
			③ 処理システムの信頼性	3点	
			④ 基本性能の維持及びメンテナンス	3点	
			⑤ 作業環境等	2点	
	イ 混雑対策及び動線計画		① 混雑対策	4点	9点
			② 屋外配置動線計画	3点	
			③ 屋内配置動線計画	2点	
	ウ 運転管理		① 搬入出・運転・維持管理	4点	6点
			② 体制	2点	
	(2) 資源循環と省エネ・創エネへの対応			11点	
	ア エネルギーの有効活用		① 売電量の最大化	4点	7点
			② 脱炭素・省エネルギーの取組み	3点	
	イ 資源化と最終処分		① 資源化量の最大化と最終処分量の最小化	4点	4点
	(3) 環境教育等			9点	
	ア 環境教育、環境学習		見学者対応及び環境学習計画	4点	9点
	イ 工事計画		全体工事計画	3点	
	ウ 景観		デザイン及び景観	2点	
2	事業計画に関する事項			10点	
	(1) 地域貢献			5点	
	地域経済及び地域社会への配慮		① 地元企業の活用及び現地調達	3点	5点
			② 地元雇用	2点	
	(2) リスク管理方法			3点	
	リスクの管理及び対処方法		リスクの管理及び対処方法	3点	3点
	(3) 経営計画・事業収支計画			2点	
	経営計画・事業収支計画		経営計画・事業収支計画	2点	2点
3	入札価格に関する事項			40点	
	(1) 入札価格			40点	
合計				100点	

(2) 事業提案に関する得点化方法

ア 提案を求めている審査項目においては、次の5段階評価による得点化方法により得点を付与する。

表 3-2 審査基準及び得点化方法

評価	審査基準	得点化方法
A	大変優れている	配点×1.0
B	AとCの中間程度	配点×0.75
C	優れている	配点×0.5
D	CとEの中間程度	配点×0.25
E	要求水準を満たす程度である	配点×0.0

イ 各審査項目の評価点については、次の算定式①により、各委員が個別に行った評価の平均値とする。なお、平均値を求める際は、小数第3位を四捨五入した値とする。

ウ イの結果をもとに、各入札参加者の得点の合計を算出する。

算定式①【事業提案の得点算定式】

$$\left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{事業提案に関する得点} \end{array} \right) = \Sigma \left(\frac{\text{各審査項目の配点} \times \text{審査基準}}{\text{委員人数(6名)}} \right)$$

3 開札及び入札価格の確認

提出された入札金額が入札書比較価格を超えていないことを確認する。なお、入札価格の確認のための開札は、提案書の定量化審査終了後、入札説明書に定めた方法により実施し、入札金額が入札書比較価格を超えていない提案のみ入札価格の得点化を行うこととする。

4 入札価格の定量化審査

(1) 入札価格に関する得点化方法

入札価格においては、入札価格（様式集、様式第13号に記載する金額をいう。）について、次の算定式②により得点を付与する。なお、得点は、小数第3位を四捨五入した値とする。

算定式②【入札価格の得点算定式】

$$\left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{入札価格に関する得点} \end{array} \right) = 40 \text{点} \times \left(\frac{\text{最低入札価格}}{\text{入札価格}} \right)$$

5 総合評価値の算定方法

「2 提案書の定量化審査」、「4 入札価格の定量化審査」により算出した各入札参加者の得点から、次の算定式③により、各入札参加者の総合評価値を算出する。

算定式③【総合評価値の算定式】

$$\left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{総合評価値} \end{array} \right) = \left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{事業提案に関する得点} \end{array} \right) + \left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{入札価格に関する得点} \end{array} \right)$$

第4 提案書の定量化審査において審査する点

審査委員会は、各審査項目について、審査基準に基づき審査を行い、その内容に応じて、5段階評価により得点を付与する。なお、各項目については、審査の視点に対して、各入札参加者の過去の経験等を踏まえたより実現性の高い提案が望ましいものとする。

表 4-1 提案書の定量化審査において審査する点

審査事項	審査項目			NO.	審査の視点	配点
	大項目	中項目	小項目			
1	設計・建設及び運営業務に関する事項					50点
	(1) 安全かつ安定した稼働、災害に強い処理システムの確保					30点
	ア 施設の安全性及び安定稼働	① 火災・爆発対策	1	<ul style="list-style-type: none"> 火災（リチウムイオン電池に起因したものを含む。）や爆発に対する予防と事後対応について計画性と妥当性を期待する。 発熱・発煙・発火の検知及び消火システムの精度及び適正配置について、有効性と妥当性を期待する。 	4点	
		② 災害発生への備えと災害時の安全確保	2	<ul style="list-style-type: none"> 想定される浸水に対して、施設の安定稼働に配慮した浸水対策の計画性と強靱性を期待する。 災害発生時に備えた、安定稼働の継続を見据えた用水、用役等の貯留容量の設定や備蓄、調達先の確保等に計画性と妥当性を期待する。 地震、火災、水害、停電等の予期せぬ災害による人身事故、機能障害等の防止や見学者及び作業員の緊急避難について、設計面及び運営面からの計画性と妥当性を期待する。 	3点	
		③ 処理システムの信頼性	3	<ul style="list-style-type: none"> 焼却処理施設の処理システムの信頼性向上の取り組みとして、設備構成、設置基数（予備機）、最新技術の採用等について、設備面での充実に期待する。 焼却処理施設において、計画ごみ質や計画処理量の季節的変動、経年的変動への対応力、維持管理費用の増加や発電電力量の低下防止について、設計面の創意工夫を期待する。 これまでの経験を活かした改善・改良を期待する。 	3点	
		④ 基本性能の維持及びメンテナンス	4	<ul style="list-style-type: none"> 施設の基本性能の維持を考慮した点検、検査、補修及び更新の各対応について、計画性と妥当性を期待する。 施設の効率的な更新整備や保全管理を充実するストックマネジメントの考え方に基づいた施設の長寿命化対策について、計画性と実効性を期待する。 事業終了後の整備コスト縮減のための方策について、計画性と実効性を期待する。 	3点	
		⑤ 作業環境等	5	<ul style="list-style-type: none"> 焼却処理施設の施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱等を踏まえた作業環境の確保について、計画性と妥当性を期待する。 ヒューマンエラーによる事故を防止する機能やシステム、ルールの構築に期待する。 	2点	
	イ 混雑対策及び動線計画	① 混雑対策	6	<ul style="list-style-type: none"> 場内外の渋滞対策、最新システム等の導入による各車両の円滑な入退場（料金収受を含む。）対策について実効性を期待する。 多様な搬入・搬出車に対し、安全、快適かつ円滑な計量システムの構築を期待する。 一般持込受入ヤードの円滑なごみの受入システムの構築を期待する。 	4点	
		② 屋外配置動線計画	7	<ul style="list-style-type: none"> 車両と車両、車両と人に対する安全確保に対し、計画性と妥当性を期待する。 住民が分かりやすい車両動線の構築及び場内誘導・サイン計画に対し、計画性と妥当性を期待する。 	3点	
		③ 屋内配置動線計画	8	<ul style="list-style-type: none"> プラットホームにおける受入供給設備、待車、貯留、移送、投入作業等の配置動線計画に対し、安全性、作業性及び合理性を期待する。 施設全体を通して各諸室や機器の配置について、安全面、運転・維持管理面等から計画性と妥当性を期待する。 	2点	
	ウ 運転管理	① 搬入出・運転・維持管理	9	<ul style="list-style-type: none"> ごみの搬入管理の適正化及び効率化について、設計面及び運営面からの計画性と妥当性を期待する。 最終処分場への搬出物のチェック方法及び搬出方法について安全性と妥当性を期待する。 運営期間及び年間を通じた経済的かつ効率的な運転計画・操炉計画の作成について計画性と実効性を期待する。 性能保証事項（処理能力、公害防止基準等）の運転監視方法（常時及び定期測定）に対し、計画性と妥当性を期待する。 公害防止基準を満足するための方策に実効性を期待すると共に、更なる環境負荷の低減に向けた運転基準値、要監視基準値の設定を期待する。 	4点	
		② 体制	10	<ul style="list-style-type: none"> 運転管理体制において、人員各々の役割分担が明確であり、適正な人員配置であることを期待する。 	2点	
	(2) 資源循環と省エネ・創エネへの対応					11点
	ア エネルギーの有効活用	① 売電量の最大化	11	<ul style="list-style-type: none"> 高い送電端効率と売電量に期待する。 年間を通じた安定的かつ効率的な発電計画について妥当性を期待する。 	4点	
		② 脱炭素・省エネルギーの取組み	12	<ul style="list-style-type: none"> 使用電力削減等の省エネルギー対策の計画性と実効性を期待する。 脱炭素社会の形成に向けた本施設での取り組みについて、実効性を期待する。 	3点	
	イ 資源化と最終処分	① 資源化量の最大化と最終処分量の最小化	13	<ul style="list-style-type: none"> 資源化量の最大化・最終処分量の最小化に期待する。 大型・不燃ごみ処理施設で選別・回収する資源物の品質確保（純度、回収率等）について、設計面及び運営面からの計画性と妥当性を期待する。 最終処分量を最小化するため、焼却処理施設及び大型・不燃ごみ処理施設から生じる最終処分物の削減について、設計面及び運営面からの計画性と実効性を期待する。 	4点	

審査事項	審査項目			NO.	審査の視点	配点
	大項目	中項目	小項目			
	(3) 環境教育等					9点
	ア	環境教育、環境学習	見学者対応及び環境学習計画	14	<ul style="list-style-type: none"> 子ども、高齢者、障害者など、見学者の年齢や立場等に配慮した環境学習プログラムや、それぞれの者に対応した見学ルート、引率・説明方法、見学窓の配置等について、計画性と具体性を期待する。 見学設備及び環境学習プログラムに対し、社会の変化に即応した対処や方策に期待する。 多目的広場の整備内容及び利活用方法について、有効利用の観点から計画性と具体性を期待する。 	4点
	イ	工事計画	全体工事計画	15	<ul style="list-style-type: none"> 工事期間の施工体制・人員配置が確実に構築され、周辺環境や住民等に配慮した工事計画について、計画性と妥当性を期待する。 設計・建設期間が確実に遵守できる具体的な工事工程が計画され、事業者が創意工夫した効率的かつ安全性の高い計画について、実効性を期待する。 	3点
	ウ	景観	デザイン及び景観	16	<ul style="list-style-type: none"> デザインコンセプトが明確であり、コンセプトの設定根拠とデザインとの整合性を期待する。 敷地北側道路からの視点において違和感や圧迫感を抑えたデザイン及び緑化計画であるなど、周辺環境と調和した景観となることを期待する。 	2点
2	事業計画に関する事項					10点
	(1) 地域貢献					5点
	地域経済及び地域社会への配慮	① 地元企業の活用及び現地調達		17	<ul style="list-style-type: none"> 本事業の実施に関して地元企業の活用と現地調達に最大限配慮した計画となっていることを期待する。 	3点
		② 地元雇用		18	<ul style="list-style-type: none"> 本事業の実施に関して地元雇用に最大限配慮した具体的な計画となっていることを期待する。 運転員等に係る地元雇用に関し、人員の移行計画及び教育計画について、施設の安定稼働への配慮と実効性を期待する。 周辺住民との信頼関係の確立のための地域への社会的貢献策について、実効性を期待する。 	2点
	(2) リスク管理方法					3点
	リスクの管理及び対処方法	リスクの管理及び対処方法		19	<ul style="list-style-type: none"> 建設時及び運営時におけるトラブルの未然防止策及び事後対応について、具体性と実効性を期待する。 リスク顕在化確率やリスク顕在化時の影響の極小化を可能とするリスク管理方針及び管理体制の構築を期待する。 事業実施前の段階において、リスクへの対処方法に対して十分な検討を行う仕組みと方策を期待する。 リスク管理との関係が明確な保険の活用を期待する。 S P Cに対し、20年間にわたり安定して事業継続が可能となるサポート方法の構築と通常時及び非常時のサポート体制に妥当性を期待する。 必要かつ十分なセルフモニタリング（事業計画のモニタリング）の内容及び頻度を期待する。 	3点
	(3) 経営計画・事業収支計画					2点
	経営計画・事業収支計画	経営計画・事業収支計画		20	<ul style="list-style-type: none"> 20年間にわたる安定した事業経営計画及び事業収支計画について、計画性と妥当性を期待する。 事業初期段階の資金及び20年間にわたる事業の安定継続の観点から十分な資本金が設定されていることに期待する。 S P Cへの資金面での支援に対し、20年間にわたる安定した事業継続が可能となる計画であることに期待する。 	2点

審査の視点に示す用語の定義は、以下のとおりである。

「計画性」：課題、原因、事例等の分析から提案内容を導いた過程や考え方が適切であるかを判断する。

「実効性」：求めた性能、機能、方策について、実際に効果があるかを判断する。

「妥当性」：提案内容そのものが適切かどうかを判断する。

第5 提案書に関するヒアリング

審査委員会は、提案書の審査及び評価を行うにあたり入札参加者に対し、ヒアリングを行う。なお、ヒアリングについては、入札参加者の独自のノウハウに関する内容も含むことが想定されることから、非公開のもとで実施する。

ヒアリングの開催要領の詳細は、別途通知する。

第6 審査結果等の公表

審査結果等については、公表を行うとともに、入札参加者においては個別に通知する。